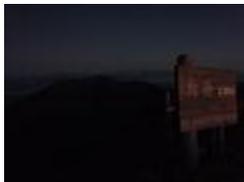


久方ぶりだよ、南〜♪[編集する](#)

2010年09月18日 04:02 [友人の友人まで公開](#)

8 view



《写真1》 4:50



《写真2》 8:10



《写真3》 11:00 !? (運命の分かれ道)

トータルすれば、とっても楽しい山行だったけど!! 🍗

ここ数年、年に1回使うか使わないかの75リットルザックで行ったせいか、はたまた標高差1700mを一気に登りつめたせいか、裏を返せば、久々に身体に堪えた修行の旅でもありました〜 🍗

そもそも、計画の時点で欲張りすぎだったかもしれない 🦋

今回の山行は、体力ばっちりのOさんをアルプスデビューさせるが発端。Oさんは以前から山に対する興味があったようで(新田次郎の山岳小説が好き)、話をしていくうちに山に登る理由もあることがわかり、それなら関東の百名山+3000m級の山を登頂しよう、という目標を掲げた 🍗

そのため、今回の山行も、当初は白峰三山の予定だったが、百名山を稼ぐために、北岳〜間ノ岳〜仙丈ヶ岳のコースに計画変更。これだと2日目の行動時間が一気に増えるけど、その気になっている人を、早いうちに連れて行ってしまおう、という目論みもあった 😊

これが吉と出るか、凶と出るか!?! 🦋

《予定》

★1 日目 : 広河原(11:40)→二俣(14:05)→八本歯(15:40)→北岳(16:30)→北岳山荘(17:15)

★2 日目 : 北岳山荘(5:00)→間ノ岳(6:40)→野呂川越(9:10)→仙丈ヶ岳(15:00)→仙丈小屋(15:20)

★3 日目 : 仙丈小屋(7:00)→北沢峠(9:30)

《実際》

★1 日目

甲府駅からのバスの都合上、かなり遅めの 11:45 に登り始める。この時間に登り始める人は、ほとんどが白根御池小屋か、肩の小屋泊まりだったけど、我々は一路北岳山荘へ!! 📍



天気はバッチリ👌

スタートしてからはびっくりするほど快調だったが(コースタイムの 60%で二俣へ👍)、後半から一気に崩れ始める... 🤕 と言ってもコースタイム以内では歩いているが、Oさんの頭痛(高山病!?)と、おれの久々の75リットルザックが、ももとふくらはぎにダメージを与え、30分に1回は休憩を入れることにした。なので、前半に稼いだ貯金をあつという間に使い果たす。。。📉

結局、小屋の到着を遅らせたくないのと、お互いの疲労度も考慮して、涙を飲んで「北岳カット!!」と勇断😓
(→これ、ほんとに勇ましい決断でしょ!?)😓)



結局どんよりガスの中、巻き道を進む。

17 時前に北岳山荘に到着したものの、案の定、スタッフからは早めの到着を心がけるよう注意されました。ごめんなさい m(__)m

ちなみに山荘内は思ったより混雑せず。しかも寝具持ち込みの素泊まりにしたら、1 階の大部屋(定員 50 名くらいの部屋!?)を、2 人で使わせてもらう結果に!! 結局、寝具ありの宿泊客とは別扱いにしたかったんだろうけど...、まあいっか😓

11:45 広河原

12:50-12:55 小休憩

13:25-13:45 二俣

13:50-14:00 沢沿いで水汲み!!

14:25-14:30 へばって休憩①

15:00-15:08 へばって休憩②

15:30-15:35 へばって休憩③

15:38 八本歯のコル

16:10 山頂と稜線巻道との分岐 (→巻道へ)

16:30-16:38 稜線分岐

16:55 北岳山荘

ちなみに大樺沢コース。以前、8月初旬に歩いた時は、とにかく陽射しが強く、でも登山道の横には、水鉄砲で遊べたくらい、豊富な水が流れていたのを覚えている。ところが今回(9月中旬)の大樺沢は、すっかり涸れていた。。。😞 かろうじて、二俣を超えてから雪渓が残されていたので、貴重な水場となったが、



この雪渓がなければ厳しかったかも!?

★2日目

まずは未明。満点の星空の下、昨日断念した北岳をさくっと登頂👌



4:35-4:50の山頂 もちろん誰もいない。



朝焼けに染まる稜線。

その後山荘に戻り、腹ごしらえをしたところで、本日は間ノ岳 & 仙丈ヶ岳を目指す。ただし、この時点で、山荘出発 6:40 というのが遅すぎたかも!?



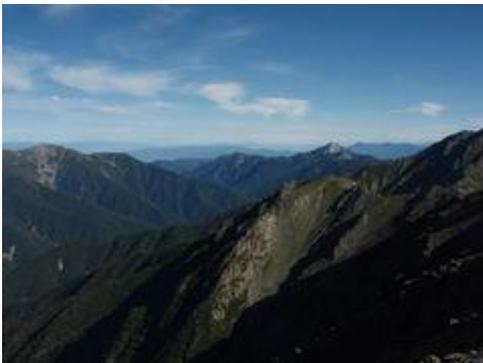
出発後、すぐに振り返れば北岳が聳え立つ。



中白峰は平らな空間。遠方が間ノ岳。



間ノ岳 登頂!!



もうほんの少し、カメラの広角があれば...

左で切れてしまった山が仙丈、中央右の白い山が甲斐駒、右に切れているのが北岳。



三峰岳から眺めた仙塩尾根。この先にあるのが仙丈。ここを今から歩きます 🧭

結局、その後もペースは順調で(下りだったからか!?)、休憩を含めてもコースタイム内で歩き続け、野呂川越に到着。(→ただし、下を向いて歩いていたので、野呂川越に気づかず通り過ぎ、10分のロス。引き返して野呂川越に 11:10 到着。)



ここに来るまでの間、ずっと考えていた。

この先を進むべきか、引くべきか。

本来、早朝に北岳を登らなければ、野呂川越は 9:00～9:30 には通過しているはずだった。そして、仙丈ヶ岳までは、ここからコースタイムで 6 時間強 😞 ここを過ぎれば途中でエスケープできるルートはない...
😞

行けないことはない。それはお互いの体力を考えて納得。

ただし、Oさんはアルプスが初めてだし、おれも登りはペースが遅くなるかもしれないし、万一お互いに何かあったときのことを考えると...

.....。





結局、選択せざるを得なかったのが、ここからの下山👇👇👇

でも!!!

〇さんは、また来年ここに来ることを、(半ば強制的に!!)約束してくれた👍

というより〇さんは、来年は山行の足慣らしとしてここに来て、その後は、悪沢か、剣か、槍穂を終わらせて、あとは秘境の温泉まで足を運んでのんびりしたい、とまで言ってくれた。なんと頼もしい!✨

何だか嬉しくなった👆👆👆

一度下山を決め込めば、休憩はだらだらし始める。野呂川越は、何の展望もない樹林帯の中だが、時折吹き抜ける風を感じながら、30分以上休憩🤤

そして、ある意味元気よく(!?)、スタミナを残して撤退🤔 だからこそ、やっぱりものすごーーーーーく後ろ髪が引っ張られる想いだったけど、(こんなときに、ロンや、HEVAさんや、三太さんだったら、下山せずに進みそうかも!? とまで頭によぎりつつ...),

ええい、下山と決めたら下山だー!!🍷

そして、えらく急な下り坂を下って辿り着いたのが両俣小屋。本日の業務はこれにて終了🔔

3:50 北岳山荘

4:35-4:55 北岳

(下山中の 5:20 に御来光)

5:35 北岳山荘 (→朝食)

6:40 北岳山荘

8:05-8:20 間ノ岳

8:55-9:00 三峰岳

9:40-9:45 小休憩①

10:25-10:30 小休憩②

11:03 野呂川越通過(!?)を自覚し引き返す

11:10-11:45 野呂川越 (→昼食)

12:30 両俣小屋



予定外で辿り着いた両俣小屋だったけど、

ここは、登山客よりは釣り人の常連客が多い様子。静かに過ごすには穴場のエリアで間違いない!



小屋の目の前に流れる沢。沢があるだけで、元気になれた🙌

そして久々に、何の予定もない午後も過ごし、

(→Oさんは、小屋でぐっすり昼寝後☑️、お茶を飲み🍵、再び昼寝☑️。おれは沢でひなたぼっこしたり👌、手紙を書いたり...✍️)

夕食も4時には作り始める。Oさんとは、今頃歩いていたら、やっと大仙丈にたどり着いたくらいかね～、と話していたけど、見上げれば雲行きは怪しい。きっと稜線にいても何も見えなかっただろうし(=後日談で、実際そうだったらしい)、ここに下りてきて正解だったかもしれない👍

★3日目

この日は林道を歩くのみ。当初は北沢峠まで歩くつもりだったが、



この、バス停の誘惑に負けた🤔

6:30 両俣小屋

7:35-7:40 休憩

8:30 野呂川出合

(それでも、小屋から出合まで、8km は歩きました。)

そして待つこと 45 分、ほぼ定刻どおりのバス🚌に乗りこむ。

文明の力は素晴らしい✨✨ これにておしまいっ👏👏

【アプローチ】

(往路)

自宅→(JR)→甲府→(バス)→広河原

(復路)

野呂川出合→(バス)→北沢峠→(バス)→仙流荘→(高速バス)→新宿

【温泉】

仙流荘👏

コンパクトにまとまった施設で、なかなかよろし。

(露天風呂が妙に狭かったが...。)

最後に。

今回の山行は、次回へのトレーニングの意味もこめていたので、3つの山を回り切れなかった分は、次回にやや不安を残す結果となったけど...

でもまあ次もがんばるぞい!!

